

入院診療計画書② (産婦人科) 緊急帝王切開

ID : 患者ID _____

氏名 : 氏名 _____

新規作成日 : 新規作成日 _____

日付			~			
経過	手術当日 (術前)	手術当日 (術後)	手術1日目	手術2日目~6日目	退院時	
目標	不安の表出ができる 身体的準備ができています 精神的準備ができています	合併症の症状・所見がない 疼痛コントロールについて理解できる	産褥経過が良好である 子宮復古が正常である 合併症の症状・所見がない	産褥経過が良好である 子宮復古が正常である 合併症の症状・所見がない	日常生活の注意点について理解できる	
				感染の徴候がない 創部に問題がない 母乳栄養の確立ができる 自己管理ができる 母子関係の確立ができる		
注射	手術前より点滴が開始し、手術翌日まで点滴をします。		持続中の点滴が終了予定です。			
投薬			痛み止めが処方されます			
検査	必要時、手術前に採血や尿検査、心電図、X線撮影を行います。		朝、採血をします。		3日目と6日目の朝、採血をします。6日目、朝食前に尿検査をします。5日目、体重測定をします。	
処置	手術着に着替え、弾性ストッキングを履きます。手術室に行く前に胎児心音を確認します。	血栓予防のため間歇的空気圧迫法を行います。	尿管を抜きます。 点滴終了後は針を抜きます。		6日目に退院診察があります	
	血栓予防のため弾性ストッキングを履きます。					
	手術前に病棟にて検温を行います。	帰室してから適宜検温や全身状態の確認を行います。			朝と夜に検温を行います。	
食事	飲食できません。		朝から水が飲めます。昼からおかゆがはじまります。	2日目の朝より産婦人科の普通食になります。15時と20時におやつがでます。5日目の夕食はお祝い膳がでます。		
清潔	手術前までに洗面を済ませておきましょう。		洗面、歯磨きは介助します。体拭き、着替えを介助しながら行います。	2日目に医師が手術の創(きず)を診察し問題なければ、シャワー浴できます。		
排泄	手術室に行く前に、尿管を挿入します。		トイレまで歩行ができることを確認したら、尿管を抜去します。その後はトイレにて排泄を行います。	24時間の排泄回数を確認します。		
活動	安静度	手術室まではストレッチャーにて移動します。	帰室後3時間が経過したら、身体の向きを変えられます。	朝よりベッドを挙げて体を起こします。初めて歩く時には、看護師が付き添います。	病院内のみ移動可能です。	
	リハビリ	基本的にリハビリの予定はないです。				
看護ケア			定期的な検温や点滴の管理を行い、異常の早期発見に努めます。また、子宮の収縮を観察し、出血の有無を確認します。			
			乳汁分泌の状態を観察し、スムーズに育児が習得できるようお手伝いさせていただきます。			
確認事項	手術の同意書、説明書の内容の同意を確認します。手術前にチェックリストを用いて眼鏡やアクセサリーの有無の確認を行います。					
指導	手術についての説明を行い、入院診療計画書をお渡しします。マニキュア・ペディキュアは落としましょう。アクセサリーなど外れるものは、外しておき家族に預けましょう。	ベッド上での安静が継続されます。母児の状態によっては授乳を開始していきます。	母児の状態に合わせて母児同室を開始し、授乳など育児を開始していきます。	産褥指導(月・木曜日)があります赤ちゃんの状態を見て沐浴指導を行います。	退院後の生活の注意点について説明します。異常徴候出現時には病院へ連絡して下さい。次回外来のご案内をします。	
コメント	母児の状態によって、急にスケジュールが変更になる場合があります。不安なことや不明点がございましたら、産婦人科スタッフにお声かけください。					